

「西宮市再犯防止推進計画（素案）」に対する 意見提出手続（パブリックコメント）の結果を公表します

「西宮市再犯防止推進計画（素案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）について、ご意見の概要とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので公表します。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。

※ いただいたご意見は、原則として要約したものを記載しています。

※ 個人・団体等への誹謗中傷など市が不適切と判断した内容や、個人等が特定される内容については、記載していません。

1. 意見募集結果概要

- 【意見募集期間】 令和5年（2023年）1月4日（水）
～令和5年（2023年）2月2日（木）
- 【意見提出者数】 4名
- 【意見提出件数】 4件

《回答分類別》

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	3
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	1
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	
	合計	4

問合せ先：西宮市人権平和推進課 TEL 0798-35-3471

2. ご意見の概要及び市の考え方について

No.	素案の項目 (ページ)	ご意見の概要	件数	市の考え方	回答 分類
1	全体	再犯が起きないようにもっと犯罪者受刑者などの教訓を大事にするべきだ。	1	犯罪をした者等が、犯罪被害者の心情等を理解し、自ら社会復帰のために努力することが基本ですが、一方で、本人の努力だけでは対処できないような問題を抱え、周囲の理解や支援を必要としている場合があります。本市としては、犯罪が起こった背景について理解を深め、関係機関等と連携し、再犯防止のために必要な支援を充実させてまいります。	③
2	全体	再犯の増加は、大家族世帯から核家族化になり「事の善悪を教えられない家庭環境」や「個別の自主性が尊重されない保育園、幼稚園などの多数の共同教育施設」に預けられて個別の自主性が尊重されない環境からも派生するものと思われる。逮捕や前科がつくと、刑期を終えても再就職に於いて、職業も限定される事を広く広報する事で多少の犯罪防止効果は得られるものである。したがって、再犯防止には厳罰主義で対応する必要がある。本市でも多く発生している知能犯、特に公務員の汚職や贈収賄事案も、厳罰主義で対応する必要がある。	1	犯罪に至る事情もさまざまであり処罰するのは司法の役割であるため、ご意見としてうけたまわります。	④
3	全体	素案では地域社会での生きづらさや生活上の困りごとを抱えた再犯者に対する一般的なソーシャルワークに収まっている。それにとどまらず触法行為に及んだ背景等を調査し、再犯者に対する動機付け支援やその家族を含めたカウンセリングの実施等も検討していただきたい。	1	現在、ご意見のような支援は、国県の機関において行われており本市としても連携しておりますが、今後のあり方については参考・検討とさせていただきます。	③

4	全体	独りよがりの考えで再犯に至る者もあると考える。そのような再犯者を減らすため温かい社会づくりを基盤とした本市の再犯防止推進計画は大変重要なものである。	1	本市としては関係機関等とも連携し少しでも再犯者を減らすことができるよう今後も努めてまいります。	③
---	----	--	---	---	---